

令和8年度

和歌山県地域福祉推進フォーラム

大規模災害時における
多機関連携のあり方を問う

日時

12月14日(月) 13:00~16:00

場所

県民交流プラザ和歌山ビッグ愛1階大ホール

基調講演&パネルディスカッション
コメンテーター



京都大学ヘルスセキュリティセンター
健康危機管理多分野連携学 特定研究員
国立健康危機管理研究機構
DMAT事務局 非常勤医師

是枝 大輔 氏

パネルディスカッション
コーディネーター



特定非営利活動法人
にいがた災害ボランティアネットワーク
理事長

李 仁鉄 氏

参加対象

市町村社協役職員、社会福祉施設役職員、民生委員・児童委員、ボランティア・NPO、
企業、行政職員、学生、その他地域福祉、災害支援に関心のある方

主 催

社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

共 催

和歌山県市町村社協連絡協議会

後援(予定)

和歌山県、和歌山県民生委員児童委員協議会、和歌山県ボランティア連絡協議会、
和歌山県社会福祉法人経営者協議会、和歌山県社会福祉法人経営青年会、
社会福祉法人和歌山県共同募金会

開会・オリエンテーション

基調講演

「災害医療の視点から見る福祉支援の重要性」

京都大学ヘルスセキュリティセンター

健康危機管理多分野連携学 特定研究員

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 非常勤医師 **是枝 大輔** 氏

平成7年の阪神淡路大震災をきっかけとし、災害超急性期に救急医療を提供することを目的に創設されたDMAT（災害派遣医療チーム：平成17年4月創設）。DMAT事務局としてこれまで数々の災害現場を経験された中、災害医療の視点から見る福祉支援の重要性についてご講演いただきます。

13:00
～
16:00

パネルディスカッション

「大規模災害時における被災者生活再建と多機関連携のあり方とは」

【コーディネーター】

特定非営利活動法人

にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 **李 仁鉄** 氏

【コメンテーター】

京都大学ヘルスセキュリティセンター

健康危機管理多分野連携学 特定研究員

国立健康危機管理研究機構 DMAT事務局 非常勤医師 **是枝 大輔** 氏

【パネリスト】

和歌山県 防災企画課 主査 **木澤 英之** 氏

社会福祉法人寿敬会 養護老人ホーム大日山荘 施設長 **高木 久登** 氏

和歌山県NPOサポートセンター センター長 **志場 久起** 氏

社会福祉法人かつらぎ町社会福祉協議会 事務局長 **山本 幸則** 氏

大規模災害時における被災者の生活再建には、保健・医療・福祉分野の連携はもちろん、環境やまちづくり等も含めた幅広いニーズに対応するため、官民連携・多機関連携がカギになります。

パネルディスカッションでは、にいがた災害ボランティアネットワーク理事長の李氏をコーディネーターに迎え、県内の支援関係者とともにそのあり方を考えます。

閉会

お問合せ
お申込み

社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会 総務企画部 企画班

TEL：073-435-5222 FAX：073-435-5226

E-mail：kikaku@wakayamakenshakyō.or.jp

開催要項・申込書のダウンロードはこちらから▶<https://www.wakayama-wel.jp/>

参加申込

※下記参加申込欄に必要な事項を記入のうえ、**令和8年12月7日(月)までに**

Googleフォームまたは上記申込先あてにFAXよりお申込みください。

(ただし、定員に到達次第締め切ります。)

※申込受付後、参加確認券等の発行は行いません。



和歌山県地域福祉推進フォーラム参加申込欄

FAX：073-435-5226

参加者氏名	所属(いずれかに○)	
ふりがな	1. 社会福祉協議会	2. 福祉施設・事業所
	3. 民生委員・児童委員	4. ボランティア・NPO
	5. 福祉委員	6. 企業
	8. 学生	7. 行政機関職員
		9. その他()
連絡先電話番号	住所(市町村)	